

(1)前半、「人口動態から『生活者としての外国人』のニーズ分析を行い、実践的な活動の連動について考えよう」はいかがでしたか。(回答30件)

よい 29

ふつう1

あまりよくない0

(2)前半の感想をお願いします。

- ・共感とうんうん、しかありません。資料もオリジナルで大変わかりやすく、かみ砕いたわかりやすいお話で理解が進みました。
- ・集住するには主観的合理性があって、それは日本人の側も同じだと思った。お節介と押しつけの線引きは難しいけれど、お節介をやめない社会を作りたいとも思った。
- ・実態を知ることができよかったです。
- ・やはり、各地域の外国人に関する情報を知ることが大事だなと思いました。
- ・フィリピン人の人口構成学びました。
- ・グループディスカッションがあり、グループの方の意見が聞けてとてもよかった。時間がなく日本語教室に参加できない人たちにどうすればいいか？話し合えたのもよかった。
- ・浜松のフィリピン人の人口動態が特殊であることに驚きました。大半が女性で、母子家庭が多いことも知らなかったなので、勉強になりました。
- ・浜松はとても進んでいると思います。苦労があった、あるからですね。我が街では、一時日系人がたくさんいた時期は頑張っていたのですが、工場が閉鎖され日系人が少なくなったとたん支援の手がゆるくなりました。外国人に選んでもらえる国、街作りをしていかないと、超少子高齢化です、やっていけなくなりますよね。日本人が変わらなきゃならないと思います。
- ・永住者・定住者について詳しくなかったのですが、在住フィリピン人の歴史や人口構成比などから、国籍や世代によってニーズが全然違うことが想像できるようになりました。
- ・小部屋で浜松市、大阪市の異なる状況も教えていただきながらとても有意義な話し合いができました。/
- ・参加しやすい日本語教室の形、調査分析から学習者の状況と運営側と両方の実情が見えて具体的に動く重要性を感じました。
- ・今後、地元のニーズ分析をする際の参考事例がたくさんあってよかったです。
- ・時代によって、出身国によって、来日の動機や背景が異なり、出身国の背景、個人の理由、そして日本の事情など、いろいろ絡んでの現状があるということがよくわかりました。実態調査をすることで、現状に即した支援につなげていくという、高畑先生とナガイサさんのタッグが素晴らしいと思いました。
- ・女性・母子家庭が多いという特徴は横浜でも同じだと思った。改めて、支援の必要性を感じた。また、フィリピン人は相互扶助の意識が高いということを知り、中国人も家族は親戚も含めて家族と感じているので、逆に日本人の親戚・社会の相互扶助の意識が低いのではないかと感じた。

- ・大変勉強になりました。グラフにすると実態が一目瞭然でした。母子世帯で生活保護を受けている家庭が想像以上に多いことに驚きました。まずはそれぞれの方に合った居場所が見つかりたいと願うばかりです。
- ・フィリピン人の多い地域にとっては、有用な分析であり、地域日本語教育の幅を広げるものだと思います。
- ・日系フィリピン人の方のことなど、知らないことがたくさんあり、目から鱗がでした。
- ・地域によって人口動態はかなり違うと思います。古瀬の居住地では2%にも届くか届かないかというレベルです。本当は少数だから対応が遅くなるのはNGと考えますし、実質も届いていないと思っています。少数が損しない社会ができるのか、どのように行政と協働できるか、などお話ししたいです。先生のお話心に響きました
- ・在日外国人の国によって年齢や性別、また働き方もそれぞれである事がわかり勉強になりました。
- ・静岡県外国人の現状、それに伴う日本語学習のあり方、問題点がよくわかりました。
- ・フィリピンの方々の様子が数字から理解することができました。母子家庭が思いのほか多く驚きました…。日本人男性とフィリピン人女性の年齢差婚…。先日、日本語教室で担当した学習者さんがまさに年齢差婚の20代前半と思われるフィリピン人女性でした。「夫、おじいさんです」「フィリピンにいる家族に会いたい」そう言った彼女のなんとも複雑な表情に心配になったのを思い出しました。彼女はなぜ結婚し日本に来ることになったのか…。何か事情があるのだろうか…。日本語学習はとてとても頑張っていてメキメキ上達しています。これからも学習を通して日本での生活の応援団になれたらと思います。
- ・データに基づいて日本語支援活動を考える活動で、有益でした。
- ・プログラムの運営がスムーズで、視聴者も参加する場面があり、自己紹介をチャットで売ったり、共有化する等、工夫されていました。参加されている方の活動をもっと知りたいなと思いました。
- ・自分の地域では、あまりフィリピンの方がいらっしゃらないので、とても勉強になりました。
- ・聴講できませんでしたが、資料を拝見させて頂いた感想です。静岡県の外国人の在留状況を知ることができ、とても勉強にライブラリーになりました。定住のビザの方々はどのような方々なのか興味を持ちました。定住者の方々は、長く日本にいらっしゃる予定なのか、これまでどのくらい滞在しているの等についてお聞きしたかったです。
- ・先生のご説明がわかりやすかったです。ワークから発表というのが苦手なのですが、チャットを使った共有方法は負担がなく良かったです。他のグループの話もじっくり読むことができました。
- ・在日フィリピン人の人口動態は、分かりやすく解説いただきました。70代なので、フィリピン人と日本との関わりは、戦前の日本人の入植から終戦後暫く間以外は、色々なシーンを同時代に見聞き、またフィリピンでの日本人男性の動態も知っているので、女性が主に来日する特徴等、理解しています。男女共に海外で出稼ぎで外貨獲得で祖父母に育てられる子供も多く、母親が日本在住で、高校卒業までの呼び寄せ等の多さも特徴かもしれません。技能実習も増えている様子ですが、受ける教育が日本とフィリピンの狭間で不安定になりがちな子供たちのキャリア形成をサポートすることが必用と思われます。
- ・私が今まで出会ったフィリピンの女性の方は皆さん勉強意欲のある方ばかりでしたので、育児等で勉強したくても出来ない方に日本語学習ができる場がたくさんあると良いと思いました。経験上、オンラインレッスンはお子さんがいても、参加率が高いように思いました。

(3)後半『生活者としての外国人』のキャリア支援について考えを深めよう』は、いかがでしたか。(回答30件)

よい26

ふつう3

あまりよくない1

(4)後半の感想をお願いします。

- ・ナガイサの活動、素晴らしいと思います。国や自治体の制度や取り組みなど、これからの活動で、受けた相談内容でわからないことがあったとき、フィリピンナガイサさんに相談したいと思います！よろしくお願いいたします。
- ・違う活動をしている方から提示される視点にハッとした。同じフィールドに居続けるとこうした経験が少ないので貴重な気づきになった。
- ・とても考えさせられました。日本に来たいという外国人の方にも住みやすい日本にしたいと強く思いました。
- ・今まで知らなかったセカンドキャリアについて知ることができて、とても良かったです。その点で浜松は外国人のセカンドキャリアの対策が進んでいて、これからの対策または活躍を期待しています。
- ・キャリアは難しかった。同胞を対象にビジネスをすることが重要と思いました。
- ・普段、日本語学校で学生に対して自己分析やキャリア形成の話をしているが、地域の外国人の方々のキャリア支援について考えたことがなく、いい機会になった。
- ・定住・永住の外国人に接することがあまりなかったので、中高年女性のキャリア形成の難しさを痛感しました。また、私の地域に多い若年層も再来日し、定住することが考えられるので、その際に使い捨てにされないためのキャリア形成支援を考えなければならないなと思いました。
- ・50代のセカンドキャリア、私が知りたいです。ほんと難しい。面接も受けられませんもん。子育ても終わり、時間もあるのに、介護職以外の職業で働ける場所はないのではないのでしょうか。ここも問題だと思いますよ。日本が変わらなきゃ
- ・「キャリア支援」というと「将来どんな職業に就きたいか」を考えさせることなのかと思っていましたが、たとえば「介護人材が足りないから介護を教えよう」などという日本側の要望が全面に出ている講座などは、キャリア支援と呼べるのか？と疑問に感じました。選択肢を広げるほど、やはり人手不足の単純労働には人が集まらなくなると思うので、本音と建前が難しいと感じます。
- ・私の住む地域ではまだ子供の支援までが精一杯でキャリアの形成のところまでまだ行っていない状況です。中学生を支援していると将来についての展望など極力触れるようにしています。松本さんが説明下さったナガイサの活動の発展は語学を越えて生活ステージへと素晴らしいと感じました。
- ・キャリア支援の在り方は、今後も引き続き考えていきたいと思いました。
- ・求人倍率の高まりを背景に派遣会社が積極的にアプローチして、就業に向けて知恵をしばるいというのに驚きました。派遣という立場だと、また不況になった時に真っ先に切られる立場でもありますが、それでも派遣で働くことをきっかけに、職場の方でも理解が進み、求められる人材になっていくきっかけにはなりますね。

- ・外国人のキャリア形成の問題は、日本で子育て中のママさんが仕事復帰する時にも同様な課題があると感じた。さらに外国人の就労では、必要な情報を得ることも難しく、より困難。また、母国で得意としていたことや、前職を日本で生かすためには、やはりその仕事に必要な日本語習得は必要だと思う。第二の人生だと腹をくくって、新たに必要な知識を身に付ける本人の努力と周りの支援が必要だ。この課題は、解決に時間がかかりそうだ。(複数の協力・連携)
- ・社会問題のひとつだと思います。諸外国に比べ移民を受け入れることに消極的だったことで多様性とは？ということ自体、当事者になりきれず心から理解することが難しいのかもしれない。寛容な社会が実現すれば活躍できる場所も広がるのにと残念です。移民1世、2世の方は生活を整えるのに精一杯かもしれませんが、3世ぐらいになってくると言葉の壁がなくなってくるので、何とか教育の機会を得て見聞を広げ、社会で活躍できる場と良いご縁があればいいなと思います。母国でのキャリアが考慮されないのは残念です。ひょっとしたらすごい可能性を持っているかもしれないのに、そこを見抜くことができない・上手く活用できない社会のあり方が問題だなと思います。
- ・キャリア支援は、外国人だけでなく日本人にとっても、切実な問題です。よりよいライフスタイルを築くための取り組みだと思います。
- ・当事者の価値観と、日本人の価値観のズレもあるのかな、と思います。貧困の連鎖は避けるような教育が大切だと思いました。
- ・キャリア どうしても職業と捉えますし、そこは必要です。その「人」のキャリアを大事にすること、日本人が変わること、日本社会が変わること、とても大切です。外国人の生活に寄り添う活動に拍手👏👏です。
- ・自分のキャリアを磨くより寸暇を惜しみ必死に働き、我が子に日本で十分な教育を与えて2世代、3世代かけて日本でより良い地位を築こうという外国人の方も多いのではないのでしょうか。外国人を安価で使える労働力と考えている企業や行政が変わらない限り外国人のキャリアアップは難しいと思いました。その中で在日フィリピンの方々に寄り添い活動をされているフィリピンガイサの活動は素晴らしいと思いました。
- ・私にはちょっとむずかしいテーマでした。キャリアについての理解が必要でした。
- ・定住外国人のキャリア支援、私は日本語能力のレベルを上げることが1番大切だと思います。これは私の個人的意見ですが、日本で人材不足と言われる仕事は「日本人があまり就きたくないと思っている仕事」きつい、汚い、給料安いの3Kと呼ばれる仕事ではないのでしょうか…。日本人が就きたくなくて人材不足だからじゃあ外国人にお願いしようという流れは正直許せません。私は3K現場の過酷さゆえにギブアップし現場を離れました。酷さもわかる以上、外国の方々にそんな3K仕事ををお願いすることはできません。だから私は定住外国人の日本語レベルアップに力を注ぎ、「日本人が就きたくない仕事」ではなく、外国の人が心からやってみたいという仕事に就けるよう支援していきたいです。しかし、文化庁「生活者としての外国人 日本語教師初任研修」で、文化庁の審議会に携わっている先生によれば「これからの地域日本語教師は、もう一人日本語母語話者を作るのが目的ではありません」とおっしゃっていました…。うーん、じゃあ外国の人はずっと日本人と対等にはなれず下に見られなきゃいけないのか!?世の中の日本人に外国人は対等だと思わせるためには「日本語が普通にできること」が必須だと思います。片言の日本語を話す外国の人に対して冷ややかな日本人、バカにした態度をとる日本人を見かけますので…。 行政が定住外国人のキャリア支援を具体的にどのようなことを行っているか、ボランティアまでに



は伝わってきません。行政や支援団体の方々にはもっとボランティアを巻き込んでほしいと強く思います。今回のキャリア支援などは仕事を持ちながらボランティアをやっている日本人支援者を巻き込んだらもっと良い支援ができるのではないのでしょうか…。支援者自身のライフステージも多様です。得意な分野も様々です。まずはぜひ情報をもっとください。ボランティアはもっと外国人支援に参加したいと思っています。もっと素敵なサポートがしたい!だから勉強会にも参加するんです。

- ・キャリア支援については、共感できる面と考え方が異なると感じる面と両方ありました。
- ・定住者、永住者の方々の置かれている状況が、環境、国籍によっても様々だということが分かりました。また開催者と受講者のギャップも大きい。それぞれの状況によって生活者に寄り添った支援とは何か、考えさせられています。
- ・それぞれの地域にあったキャリア支援について考えるきっかけをいただきました。考えを深められたと感じております。
- ・キャリア支援、生活をそのものですよね。本当に必要なことだと思います。日本経済の視点からも外国人の労働力に頼るところは大きいのですが、日本サイドの要求だけではなく双方の要求がかなうように、共に考えることができる支援をされているフィリピンナガイサの活動は、素晴らしいと思います。
- ・勤務先で同様の悩みを持っていたので興味深かったです。事例が参考になりました。
- ・キャリア形成における、フィリピン人特有の困難と言うものは、日本語能力以外は特に無いと思っている。殆どの困難な事例が、新自由主義に基づく社会の有り様とリンクしている。貧富格差拡大は教育格差に及び、世代をまたいでいる。既に日本人の半数は非正規労働者で、正社員化等は法律改正してもザル法で頓挫。若く高学歴の日本人でも、あらゆる職種の非正規化に飲み込まれ、不安定な状態での就業者が増加。その中でロボットに置き換えにくい、現場職人的な仕事分野のみにキャリアサポートが生き残る道があると思える。仕事の手順やコツを会得すれば出来る仕事。農林水産業、大工、左官、内装、造園、現場型土木建築技師、車の板金修理、整備、大型輸送車運転手、建築解体、介護、看護職など既に厚労省ハローワークが日本人向けにも取り組んでいるが、大多数の職種で日本語での免許、資格の必用や現場での日本語報告書の要求が外国人に門戸を閉ざす要因になっている。但しこの点は IT による雇用者側の意識改革と技術革新で改善すれば可能性は飛躍的に拡大する。一例ですが、居酒屋チェーン等では、オーダーをタブレットで記録、伝達するので外国人店員に筆記力は不要。介護現場でも外国人スタッフには翻訳表示導入で日本人も報告、申し送り伝達、情報共有に活用できるはず。既に看護師のスマホで情報報告、共有等も進行中。NPO や研究者は、この様に外国人人材に障壁となる部分を、単に日本語力不足だから学習支援する、既存の職業訓練を当てはめるという思考から、潜在能力発揮のために、出来る仕事を増やし言葉の障壁を減らす方法を開発し行政等の関係部署を刺激する役割を担う事を望みます。
- ・私の会社でも、多くの外国の方が働いていますが、やはり、日本語の読み書きが出来るか出来ないかで、キャリアアップに差が出ると思います。いくら能力の高い方でも、日本語ができないと、他社との交渉やマニュアルを読んで理解したり、議事録を書いたり出来ないということになり、その方に仕事を任せられないということになります。
- ・フィリピンナガイサの松本さんの講義は感銘を受けました。

#### **(5)事務局にご質問のある方はどうぞ。**

- ・活用できる制度、助成、取り組みをどのような方法で入手していますか？

- ・ありがとうございました。次回も楽しみにしております。お疲れさまでした。
- ・素晴らしい講座ありがとうございました。次を期待しています。
- ・ありがとうございました
- ・感想です。グループディスカッションの内容をチャットで報告、それに高畑先生がコメントされるという流れがとても良かったです。他のグループの話も詳しくわかり、コメントで話も広がり、内容が濃かったです。ありがとうございました。
- ・前回に続き、今回も勉強になりました。フィリピンナガイサ様の素晴らしい活動も知ることができました。次回も楽しみにしております。ありがとうございました。
- ・今回もありがとうございます。高畑先生にご指導いただいて活動されているのは、羨ましいです。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・。一度そちらに伺って活動の様子をもう少し詳しく学ばせていただくことはできますか。半场さんの柔らかくきめ細かな対応に感謝しております。貴重な学びの場を提供いただきありがとうございます。
- ・今回は適宜休憩を挟んでいただいたので、とても良かったです。
- ・資料を送ってくださりありがとうございました。丁寧なご対応に感謝しております
- ・講義の内容は事前に告知したらもっと良いと思います。